

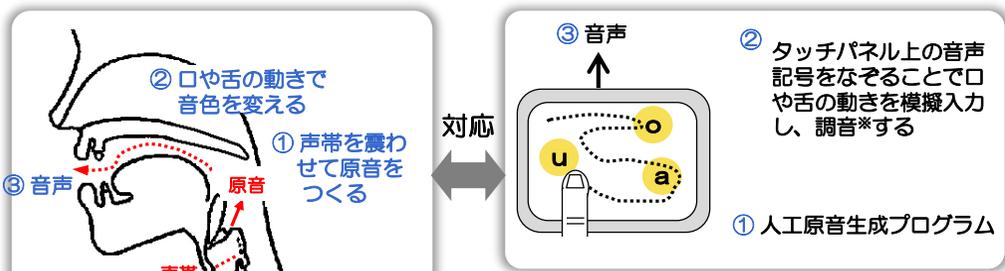
リアルタイム音声生成アプリケーションの開発

背景

- 病気や障がいなどで発話が困難な人々は、筆談に頼らざるを得ません。
- 筆談は手間と時間を要する上に、紙を注視しないと意思疎通が図れないという不便があります。
- 伝えたい言葉をキーボードで作成し、音声合成で読み上げる従来装置も手間と時間を要する欠点は筆談と同様でした。
- 思ったことをすぐに音声で伝えられる新しいツールの実現が望まれていました。

成果

1 タッチパネル上を指でなぞるだけで瞬時に音声生成するプログラムを開発



口や舌による調音\*のしくみ

スマホやタブレットPCのタッチパネル上で実現した調音\*のしくみ

※調音：舌や唇などを動かし、音声を作り出すこと

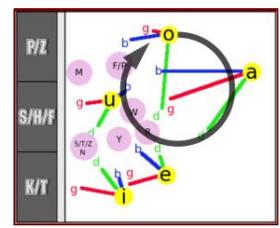
- 指一本を平面的に動かすだけで、多様な音声を瞬時に生成。
- なぞるスピードを変えることで、発声のリズムを自在にコントロール。

▶ **自由度の高い  
音声表現が可能**

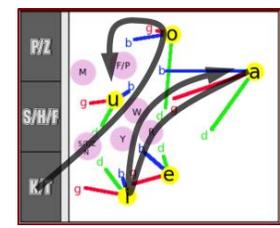
2 スマホアプリ (iOS用) として製品化



操作の様子 (アルファベットは、音声記号)



「おはよう」の指軌跡(矢線)



「ありがとう」の指軌跡(矢線)



北海道福祉のまちづくり賞



北海道新技術・新製品開発賞 優秀賞

- 障がい者の使用に配慮されたアプリとして、雑誌等で紹介されました。
- 一般ユーザやアミューズメント関連の事業者からも反響があります。

成果の活用状況

- 平成25年4月からインターネットストアで提供開始。約2,000本がダウンロードされ、利用されています。
- 北海道新技術・新製品開発賞優秀賞、北海道福祉のまちづくり賞を受賞しました。